



- はじめに
- 外国語版HP
- 刊行物
- 言語サービス
- 掲示

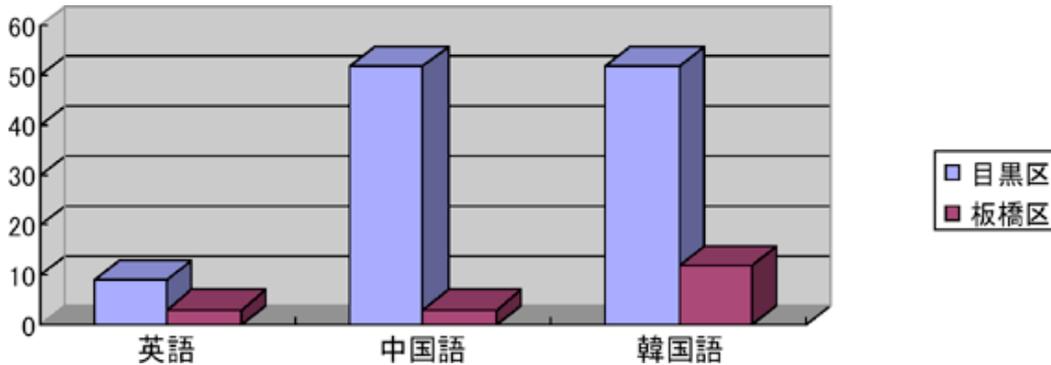
外国語版HP

- ▶ 外国語版トップページのメニュー数について
- ▶ 外国語版ホームページの記載内容

外国語版トップページのメニュー数について

国文学科2年 北村明子

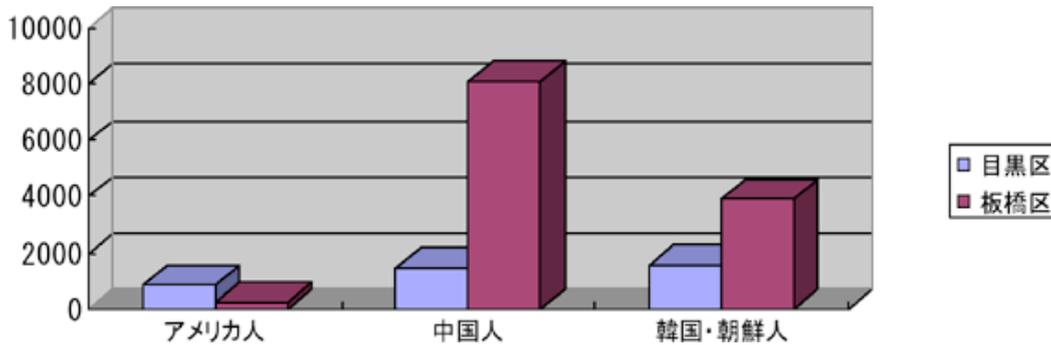
外国語版トップページの言語別メニュー数



目黒区では、英語版メニュー数よりも中国語版、韓国語版のメニュー数の方が多かった。また板橋区では、英語版と中国語版のトップページのメニュー数は同じで、韓国語版トップページのメニュー数が多くなっていた。

ホームページは、メニュー数が多いほど充実しており、それに使用されている言語を使う人口が多いと考えると、外国人登録人口数とホームページを構成しているメニュー数とは関係があるのだろうか？この二つの区のメニュー数とアメリカ人、中国人、韓国・朝鮮人の外国人登録者数と比較してみようと思う。

言語別メニューに対応する在住外国人数



資料：東京都総務局統計部 外国人登録人口(平成19年10月1日現在)

目黒区では、各言語のメニュー数の多い順と外国人登録者数の多い順とがぴったり一致した。板橋区では、韓国語のメニュー数が一番多かったにも関わらず、外国人登録者数では中国人が圧倒的に多かった。結局のところ、外国語版ホームページのトップページの充実には、外国人登録者数はあまり関係してこないのだろうか、腑に落ちない結果になった。

- ### 各区の概況調査
- ▶ 千代田区
 - ▶ 中央区
 - ▶ 港区
 - ▶ 新宿区
 - ▶ 文京区
 - ▶ 墨田区
 - ▶ 江東区
 - ▶ 品川区
 - ▶ 目黒区
 - ▶ 大田区
 - ▶ 世田谷区
 - ▶ 中野区
 - ▶ 杉並区
 - ▶ 豊島区
 - ▶ 北区
 - ▶ 板橋区
 - ▶ 練馬区
 - ▶ 足立区
 - ▶ 江戸川区

調査用マニュアル(PDF)

印刷用PDF

